



フィリピンから①

マニラ日本人学校（境港市立第二中学校所属） 花田憲二

移動の自由～大阪→キト→鳥取→米子→境港→フィリピン→？

はじめまして。花田憲二といいます。私は、大学卒業までは大阪府で生まれ育ちました。小学生の頃までは学校の勉強を真面目に取り組んでいなかったのですが、私の親は無理に大学に進学しなくてもいいと話していたそうです。しかし、私は親の期待を裏切り、自宅から通える国立大学を選び、スペイン語を専攻しました。3年生からは中南米地域の歴史や文化を中心に学びました。部活は、硬式テニス部に所属し、練習やOBさんとのつながりは、私の想像をはるかに超えていました。おかげで、たくましくなりました。

大学は5年間通い、1年間休学しました。アルバイトで貯めた休学資金と、まだ旅行をしたことがなかったという理由で、エクアドルを語学留学先を選びました。私が通っていた大学では、3年生になったら専攻語の国や英語圏の国へ行く学生がたくさんいたので、私も自然と海外へ行きたいと思いました。しかし、当時（1997年）はまだメールではなく郵便でのやり取りが主流で、勉強をしたいなと思っていたカトリカ大学から入学についての返事がまったく来ませんでした。随分長い間本当に行けるのかなとドキドキしていました。3月になってようやく返事が届き、急いで大学に休学手続きを行い、エクアドルのキトに行く準備をしました。最安値の1年オープンの往復航空券を大学生協の方にとってもらい、ロサンゼルスからシカゴまでは国内線、シカゴからマイアミまでは夜行バス、マイアミから中南米数カ国を乗り継ぎ、エクアドルの首都に着いたのは真夜中でした。私にはもうホテルを探す元気がなく、適当に見つけたホテルが満室だったので、ホテルの2階の廊下で寝た記憶があります。

それから、大学を卒業し、自動車工場と塾の非常勤、宅配の仕事をしていた1年間を経て、鳥取県で公立中学校の先生をすることになるのですが、3月も終わる頃の夜9時頃に突然、鳥取県教育委員会の方から電話がかかってきました。私は、4月からの勤務先に断りを入れ、あわてて鳥取へ引っ越ししました。鳥取東、湊山、箕蚊屋、境港第二の各中学校でお仕事をさせていただき、今ではマニラ日本人学校でお仕事をさせていただいています。私は日々のお仕事に追われ、すっかりと忘れていたのですが、妻によると、私がエクアドルにいた頃（妻とは米子しんまち天満屋で出会いました）、キト在住の日本人の方とテニスをさせてもらったことがあったので、いつか私が海外の学校に赴任して、また海外で暮らせるときがくればいいな、と心のどこかで思っていたそうです。